

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅲ		
担当者(Instructors)	宮本 佳範	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)
観光や国際交流、留学、まちづくり、異文化理解、その他観光や文化に関わる幅広い分野から各自でテーマを決めて、卒業レポートの作成をすすめます。まずは、自分が書こうとする分野の文献レビューから始め、卒業レポートを組み立てていきます。テーマにもよりますが、夏季休暇等を利用して観光地を訪れ、そこで得た知見をレポートに活かすことを目指しましょう。

■ 授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	論文の書き方等の説明は全体で行いますが、卒論は個人の作業になります。必要に応じてゼミ全体でそれぞれの研究内容、進捗状況を共有するため、ゼミで報告を行ってもらいます。後半は個人指導が中心になります。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス	今年度の流れ等についてガイダンスを行う。	☐
第2回	卒業レポートの書き方などの説明	卒業レポートを書くための方法、決まり、手順などを説明する。	☐
第3回	興味のある分野について知る	どんな分野について論文を書くのか、自分の興味・関心にしがって考える。	☐
第4回	関連文献を読む	自分の興味ある分野の文献を読む。	☐
第5回	関連文献を読む	自分の興味ある分野の文献を読む。	☐
第6回	仮タイトルの決定	先行研究を踏まえ、仮のタイトルを決める。	☐
第7回	問題意識の明確化	各自の問題意識、論点等を明確にする。	☐
第8回	問題意識の明確化	各自の問題意識、論点等を明確にする。	☐
第9回	構成を考える	レポートの構成案を作成する。	☐
第10回	構成を考える	レポートの構成案を作成する。	☐
第11回	途中経過の発表	現在の進捗を報告しあい、ゼミ内で共有する。	☐
第12回	途中経過の発表	現在の進捗を報告しあい、ゼミ内で共有する。	☐
第13回	研究方法等の明確化	研究方法、夏季休暇中にやることなどをはっきりさせる。	☐
第14回	研究方法等の明確化	研究方法、夏季休暇中にやることなどをはっきりさせる。	☐
第15回	ふりかえり	これまでの反省と今後の取り組みについて考える。	☐

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)
授業の前後各2時間程度、自らのテーマに関する調査・研究を行う。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)
行った作業に対して、その都度コメントする。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◆ 2018地域ビジネスDP2	現実を多面的に捉え、分析することができる。
	◇ 2018地域ビジネスDP3	問題解決に向けたアイデア等を論理的に提示できる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		